

常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

令和3年度一般会計予算（総務委員会所管部分）を可決

総務費において、総合事務所ごとに、地域の活性化や一体感の醸成につながる事業に取り組むための地域活性化事業費が計上されました。

委員会では、本予算は、これまで議会においても議論を重ねた上で始まった経緯があることから、事業成果の検証状況と今後の方針、スポーツ団体との協働事業を事業対象とすることの妥当性について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、委員会で審査した予算のうち、マイナンバー制度に係る費用については認められないなどの反対意見が出されました。

一方、市民への情報発信は、全市民に行き届く広報を推進してほしい、現市庁舎別館跡地に整備予定の公園については、長崎くんちでの活用など先を見据えて取り組んでほしい、スポーツを活用した地域活性化事業は、幅広い団体が対象となるよう検討してほしい、人口減少対策については、全庁を挙げて取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

令和3年度一般会計予算（教育厚生委員会所管部分）を可決

教育費において、長崎半島から発見されている多種多様な化石を有効に活用して、調査研究や展示等に資する恐竜博物館を建設するための恐竜博物館整備事業費、化石の発掘場所として民有地を取得するための恐竜化石発掘用地取得費などが計上されました。

委員会では、開館に向けた施設のPR計画、用地取得に関する地権者との協議状況、取得後の管理方法や発掘体験の場所として活用していく考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、長崎みなとメディアカルセンター前に設置する恐竜オブジェについては、観光客が博物館に行ってみたいと思えるものを設置してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



▲市内での発掘調査の様子

環境経済委員会

令和3年度一般会計予算（環境経済委員会所管部分）を可決

農林水産業費において、いつでも新鮮な旬の魚が味わえる長崎の強みを生かすため、長崎の魚の食べ方をイメージできるような「さしみシティ」を新たなキャッチコピーとしてPRなどを行うためのさしみシティ推進事業費が計上されました。

委員会では、魚食普及の取組として効果が出ていた「魚の美味しいまち長崎」の今後の活用方針について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、委員会で審査した予算のうち、コロナ禍において出島メッセ長崎に莫大な予算を投じることは認められないなどの反対意見が出されました。

一方、さしみシティ推進事業費については、外向けの発信に力点を置いて、DMOや経済3部局が連携して事業を推進してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



建設水道委員会

令和3年度一般会計予算（建設水道委員会所管部分）を可決

土木費において、長崎駅周辺エリア内の施設相互間のデザイン調整や、長崎駅舎・駅前広場等のデザイン検討などを行う長崎駅周辺エリアデザイン検討費が計上されました。

委員会では、新幹線の開業が迫る中、多額の費用を投じることの妥当性や、駅周辺デザインに当たって、ワークショップや市民アンケートの活用状況について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、九州新幹線西九州ルート建設に関する予算については、建設に再検討を求める立場から認められないなどの反対意見が出されました。

一方、駅舎や駅周辺の形がどうなるのか、はっきりしたものが見えないことから、今後、市民へ説明できるように事業を進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



▲東口駅前広場のイメージパース